



## 一人ひとりが輝くまちへ

### 12月3日～9日は障害者週間です

市では、障がいの有無にかかわらず、すべての人が互いに人格と個性を尊重し合い、理解し合いながら生きていく社会を目指して取り組みを進めています。

11月3日に開催された「障がい者スポーツ大会」では、障が

いのある方々がそれぞれの個性に合わせてさまざまな種目にチャレンジしました。また、大会では、市内の福祉施設の皆さんがパンの製造を通して大会に協力しています。

問 障がい福祉課 ☎724・2147 ☎050・3101・1653

卓球の試合やパン取り競走ができて楽しかった!

大会では、パラリンピックの正式種目で、ユニバーサルスポーツ(障がいの有無や年齢にかかわらず、誰もが一緒に楽しむことができるスポーツ)として有名なボッチャなど、さまざまな競技で盛り上がっていました!

ボッチャが一番楽しかった!  
またスポーツ大会に参加したいです。

ボッチャの様子

### おいしいパンで支えています

市内の福祉施設で作られているパンは、各施設の店舗や、市庁舎での出店販売で販売されています。今回、障がい者スポーツ大会の種目「パン取り競走」の景品として使用され



たのは、ベロニカ苑と富士作業所(ベーカリーひあたり)のパンです。

どちらの施設でも、熟練した技術での成形や、梱包・販売など、工夫しながら精力的なパン作りに取り組んでおり、地域でいきいきと働くことは、皆さんの生きがいにつながっています。

出店販売の詳細は、市HP(右記二次元コード)をご覧ください。



ベロニカ苑の利用者の皆さん

パン作りはとても楽しいです。おすすめは、おもいパン!



富士作業所  
(ベーカリーひあたり)の  
スタッフの皆さん

